



■鳥取県では、登山前の事前用便や、携帯トイレの使用推進等、国立公園大山での山岳トイレ利用のマナーアップを図るため「大山トイレマナーアップキャンペーン」を平成20年から開始しました。その一環として、県が大山頂上に設置したエコトイレの浄化槽に堆積した汚泥を、出来るだけ自然環境へ負荷を与えないよう運搬するために、人力によって担ぎ下すイベント「大山頂上トイレ汚泥キャリーダウン・ボランティア」を継続して実施しています。

■毎年200人以上の県内外のボランティアが参加しており、この活動を通じて、山のトイレ問題や自然環境保全について関心を持つ人の輪が広がっています。

■大山頂上トイレの汚泥キャリーダウン



■大山頂上トイレの汚泥キャリーダウン ~2ℓのボトルが麓に届けられるまで~

● 受付・開会・出発 (博労座駐車場)



● 頂上へ向けて登山中 (六合目)



● 汚泥ボトルの受け渡し (頂上避難小屋前)



● 頂上で一息休憩 (頂上木道)



● 荷下ろし作業 (九合目木道)



毎回たくさんの子供たちが参加



● 汚泥ボトルの回収 (下山キャンプ場 駐車場)



◆ 自衛隊員の協力 (空ボトルの頂上への搬送作業)



◆ 汚泥の抜き取り作業

